論説のタイプ

雑誌論文は大抵、実証研究、文献調査、理論的論説、方法的論説、または事例研究である。それらは重要であり、一番初め（オリジナル）の論説である。研究者のコミュニティメンバーは文献の特性が、以前に出版されている記事なのかどうかを探すものであることに賛同し、（）ジャーナルや記事、記録文書で受け入れられたりそうでなかったりするまでに、記事は人々によって論評される。

* 1. 実証研究

実証研究は斬新な研究のレポートである。それらは次の分析に含まれる.データの現在のノーベル分析によるテスト仮設.重要なレポートで考えられていなかったり、とりくんでいなかったり。それらは典型的な主張、明確な区分の、ステージに反映する、調査の過程で　それは以下のもの

紹介：その歴史的前例に含まれる調査下での問題の開発、そして前例の目的の主張；

方法：かつて実施された手順での説明

結果：発見や分析のレポート；

ディスカッション：概要、解釈、そして結果の意味合い

* 1. 文献展望

統合やメタ分析を含む文献展望は、すでに出版された材料の批判的評価である。メタ分析では、著者は研究の結果を統計的に結びつけるために量的な手順を使う。組織によって統合、評価は以前に出版された材料、文献展望の著者は問題を明確にするほうへ調査の過程を考える。その感覚で、文献展望は著者にとっての指導である

・定義や問題の明確化

・調査のステータスの読者を知らせるために以前の調査を要約する

・文献で関係性、矛盾、ずれ、やあいまいさを識別する

・問題を解決することで次のステップを提案する。